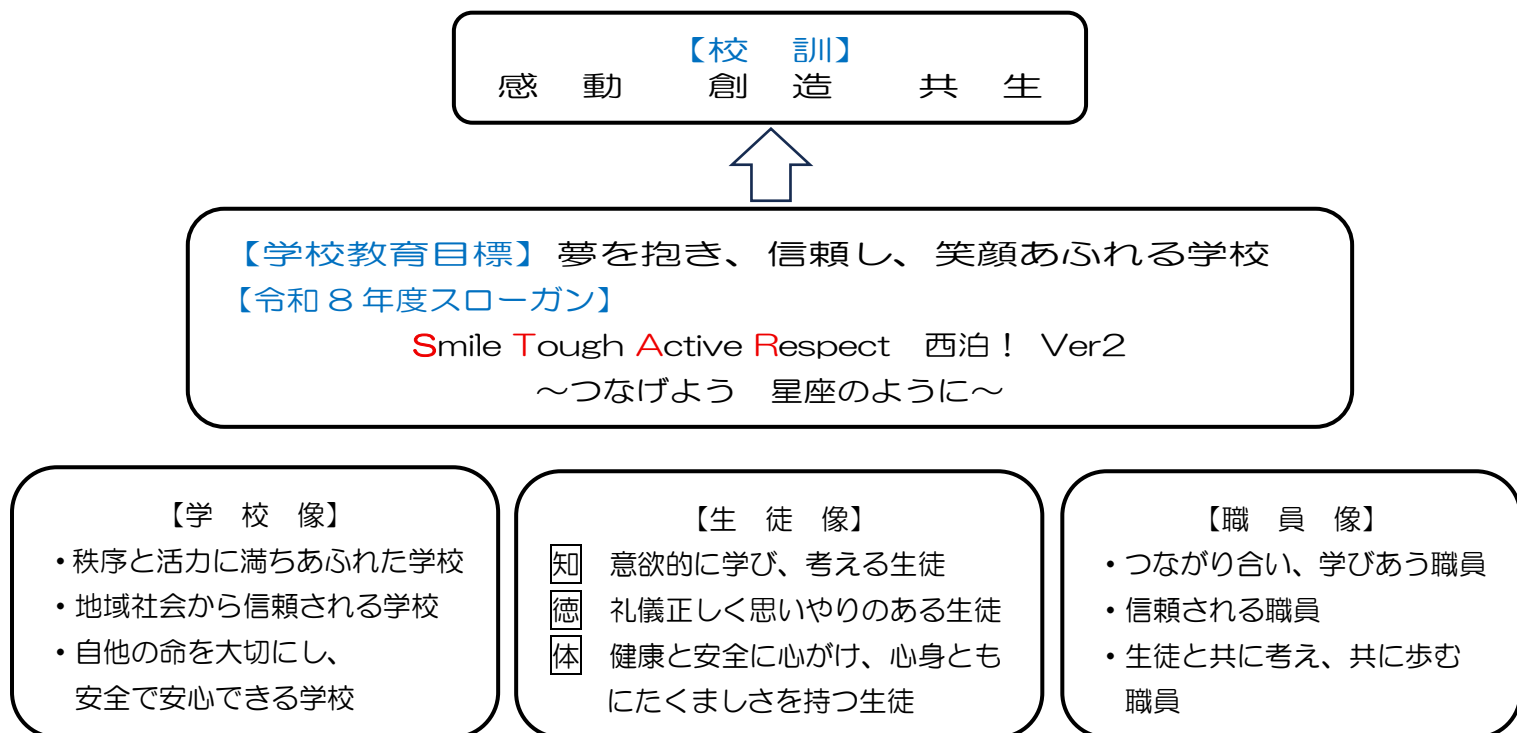




1 教育活動の指針は校訓、到達すべきは教育目標

(1)「感動」から「夢」へ

「感動」は心の原動力です。授業や行事で本物に触れ、心が揺さぶられる経験を重ねることで、生徒たちは「もっと知りたい」「あんな風になりたい」という「夢」を抱くようになります。

(2)「共生」から「信頼」へ

「共生」は単に一緒にいることだけでなく、互いの違いを認め、対話し、理解しあうことです。ぶつかり合いながらも共に助け合う経験を通じて、初めてお互いへの深い「信頼」が生まれます。

(3)「創造」から「笑顔」へ

「創造」は、苦労して何かを成し遂げるプロセスを含みます。自分の手で何かを作り出したとき、あるいは困難を自分たちの力で解決したときの喜びは、最高の「笑顔」につながります。

2 令和8年度スローガン「～STAR 西泊！～」をより進化させます！

「Smile Tough Active Respect 西泊！ Ver2 ~つなげよう 星座のように~」

S：Smile（笑顔を分かち合う）

自分の笑顔が、誰かの安心感につながります。笑顔のあふれる学校の第一歩は、自分からの挨拶と笑顔です。

T：Tough（タフに挑み続ける）

夢を叶える道のりには壁もあります。失敗を恐れず、しなやかに立ち上がる心身を育みます。

A：Active（自ら考え、動く）

「誰かがやってくれる」のを待つのではなく、「今、自分にできること」を見つけ、主体的に行動する力を伸ばします。

R：Respect（信頼を形にする）

自分と相手の違いを認め、大切にすること。そうすることで、お互いをより高めあい、確かな「信頼」の絆を築きます。

3 令和8年度重点取組及び具体的方策

- 1 基礎・基本の学力の定着と確かな学力の向上
- 2 心身ともに健やかでたくましく、互いを認め合える人間関係の構築

(1) 学習指導 → 基礎学力の向上（協働型計画訪問との関連）

- ・「めあて」（授業への見通し）と「まとめ」（次時への意欲付け）の提示
- ・学習規律の徹底→安心して授業に参加できる環境
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善
- ・個別最適な学び 協働的な学びの充実に努め 指導法の工夫改善
- ・ユニバーサルデザインを生かした誰にでもわかりやすい授業づくり
- ・ICT を効果的に活用した授業実践の推進
- ・家庭学習の習慣化
- ・学力調査を検証軸とした学力向上（PDCA サイクルの充実）
- ・校内研修の充実
- ・キャリア教育の充実
 - 義務教育終了後の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる力の育成
 - 「夢や憧れ」を持たせるための3年間を見通した計画的なキャリア教育

(2) 生徒指導

- ・基本的な生活習慣の確立→全教育課程、全職員での指導の充実
 - 「元気なあいさつ」「整った服装」「言葉遣い」「時間を守る」など
 - 情報モラル教育の推進、アウトメディア週刊の充実
 - 食育の推進（食への感謝、給食、朝ごはん等）
- ・生徒指導部会を軸に教職員の共通理解と共通実践を基盤にした生徒指導体制
 - 報告、連絡、相談の徹底
 - タイミングを逃さない指導
- ・教育相談の充実
 - 養護教諭やSC、SSW、管理職等校内外の組織を生かした教育相談体制や関係機関との連携
- ・早期発見、早期対応
 - 生活アンケートや日常の観察をもとに情報を的確に収集し、組織的に迅速で適切で心の通う指導。

(3) 特別支援教育

- ・特別支援教育についての理解推進
- ・一人一人の教育的ニーズに対応した具体的な指導や支援
 - 通級指導教室による個別指導やサポートファイルの活用
 - T Tや交流支援による支援の充実
- ・特別支援教育 Co を中心に、校内委員会やケース会議等での特別支援体制の充実や外部機関との連携
- ・不登校生徒への支援の充実
 - 学びたいと思ったときに学べる環境の整備
 - （リモート授業の実施、校内別室支援員・SSW 等の活用）

(4) 道徳教育・人権教育

- ・「特別の教科 道徳」を要とし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養わせる。
- ・「考え 議論する道徳」の充実

→問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

- ・「心の時間」「しらとタイム」「読書活動」の推進
- ・環境整備、清掃活動の充実→昨年度の課題…「環境は人をつくる」
- ・学校行事や体験活動の充実→信頼関係の構築

(5) 危機管理体制

- ・インフルエンザやコロナ等感染予防の徹底
- ・登下校の安全（下校時刻の徹底等）や、学区内の危険箇所の確認や不審者対応についての指導
- ・風通しの良い学校、コンプライアンス意識の高い学校を目指し、「ほう・れん・そう」が日常的に行われる不祥事のない学校

(6) 高め合う教職員集団の育成

- ・主体的で相乗効果を発揮する教職員集団（校内研修の充実、研修会等への積極的参加）
 - ・学校運営への積極的参画
 - ・健康第一！「働き甲斐改革」を推進し、生き生きと働ける職場づくり
 - 毎週水曜日はノー残業デー、ノー部活動デー
 - 月に1回以上の「計画的年休取得」の推進
 - 超過勤務時間の削減
- （国：時間外在校時間 45 時間以下の教職員の割合を R11 までに 0%を目指す）

(7) 開かれた学校づくり

- ・学校だより、ホームページ等による学校教育活動の発信
- ・学校評価の結果公表とともに、次年度の教育活動に生かすとともに、PDCA サイクルの則った学校経営に努める。
- ・地域人材の活用と地域行事への参加に努める。